



令和5年11月16日  
北九州国際映画祭実行委員会事務局  
北九州市市民文化スポーツ局

報道機関各位

## 「北九州国際映画祭」 特別講演会の実施が決定！ 映画『ガチ星』の上映&江口カン監督×山中浩之氏

令和5年12月13日～17日に開催する「北九州国際映画祭」の会期中、江口カン監督並びに、日経ビジネス編集者の山中浩之氏による上映・講演会の実施が決定いたしましたので、お知らせいたします。

### 1 企画概要

『ザ・ファブル』や『サンクチュアリ』など大きな反響を呼んでいる作品のメガホンを取り、世界から評価されている日本を代表する映画監督であり、福岡を拠点に活動されている江口カン監督にオンラインにてご出演いただき、同監督作品の映画『ガチ星』上映後、同作品に込めた想い、ロケ地としての北九州市の魅力等についてご講演いただきます。

江口カン監督の相手役としては、同監督へのインタビュー記事が話題の日経ビジネス シニア・エディターの山中浩之氏にご登壇いただきます。

#### (1) 上映日

令和5年12月15日（金） ※ 上映時間は別途お知らせいたします。

#### (2) 上映会場

小倉昭和館

### 2 講師

#### (1) 江口カン（えぐち かん）監督プロフィール ※ オンラインでのご出演

福岡県生まれ。  
福岡高校卒業。九州芸術工科大学（現・九州大学芸術工学部）卒業。  
1997年、映像制作会社 K00-KI（くうき）設立。  
2007～2009年、カンヌ国際広告祭で三年連続受賞。  
2018年、映画「ガチ星」を企画、監督。  
2019年、映画「めんたいぴりり」を企画・監督。  
2019年、映画「ザ・ファブル」を監督。  
2021年、映画「ザ・ファブル 殺さない殺し屋」を共同脚本・監督。



2023年、Netflixドラマ「サンクチュアリ -聖域-」を監督。  
日本国内で1位、グローバルで6位を記録。  
2023年、映画「めんたいぴりり パンジーの花」を企画・共同脚本・監督。  
映像以外では、2020年、辛さの単位を統一するアプリ「辛メーター」を発案、  
プロデュース。現在登録ユーザー数7万人越え。  
辛メーター：<https://karameter.com/>

## (2) 山中浩之 (やまなか ひろゆき) 氏プロフィール

※ ご登壇

「日経ビジネス」シニア・エディター。

1964年生まれ。学習院大学文学部哲学科(美術史)卒業。87年日経BP入社。経済誌「日経ビジネス」、日本経済新聞証券部、パソコン誌「日経クリック」などを経て、現在日経ビジネス編集部で主に「日経ビジネス電子版」と書籍の編集に携わる。著書に『マツダ 心を燃やす逆転の経営』、『新型コロナとワクチン わたしたちは正しかったのか』(峰宗太郎先生と共著)、『ハコヅメ仕事論』(泰三子先生と共著)、『親不孝介護 距離を取るからうまくいく』(川内潤氏と共著)、『ソニー デジカメ戦記』、『妻の実家のとうふ店を400億円企業にした元営業マンの話』など。



写真：大槻 純一

## 3 上映作品

### 『ガチ星』

競輪発祥の地である福岡県小倉を舞台に、元プロ野球選手が再起をかけて競輪に挑む姿を描く「ザ・ファブル」シリーズやNetflix「サンクチュアリ-聖域-」などヒット作を生み続ける江口カンの、商業映画デビュー作。

かつてプロ野球選手だった濱島(安部賢一)は、戦力外通告を受けてからは自堕落に生活。知人の勧めで競輪学校に入学したものの、教官の強烈なしごきを受けることに。そんななか努力家の同級生・久松(福山翔大)の存在を知り、自分自身を見つめ直す。

「サンクチュアリ-聖域-」の原点がここにある。

監督：江口カン 脚本：金沢知樹

出演：安部賢一、福山翔大、林田麻里、船崎良、森崎健吾、伊藤公一、吉澤尚吾、西原誠吾、博多華丸、モロ師岡

106分 日本 2017年 配給：マグネタイズ



©2017 空気/PYLON

(お問い合わせ先)

北九州国際映画祭実行委員会事務局

市民文化スポーツ局文化企画課

担当：村田、上田、堀池 電話：093-582-2389